

CCFL電球のほうがLED電球よりも効率が良い理由

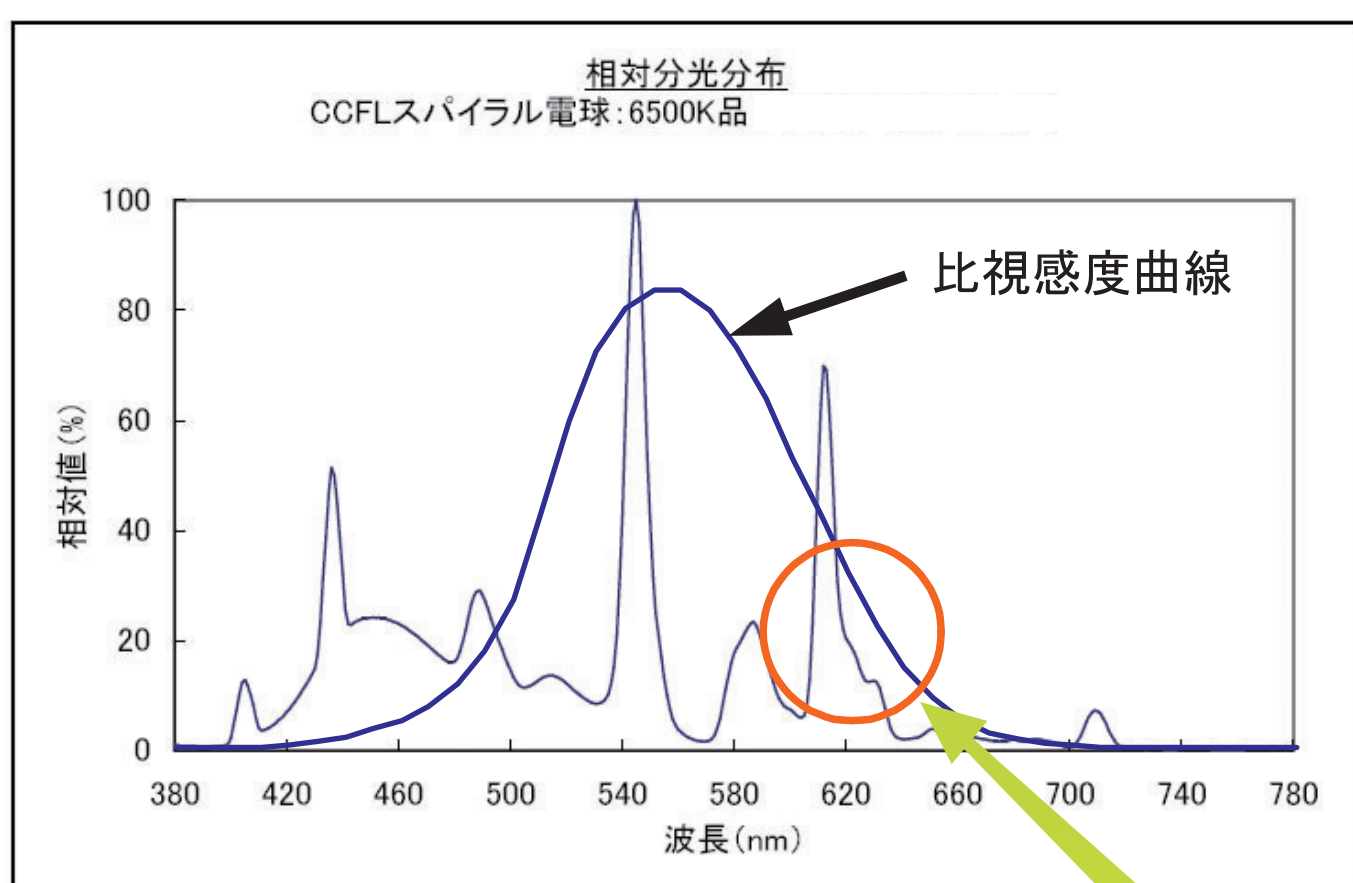
白色CCFL電球

測定ランプ CCFLスパイラル電球 6500K品

測定条件 電源電圧 AC100V、60Hz
周囲温度 (°C) 25±1

測定結果	ランプ電力 (W)	18.9
	全光束 (lm)	1073
	発光効率 (lm/W)	56.8
	平均演色評価数: Ra	89.3
色度	x	0.3069
	y	0.3267
色温度 (K)		6849

56.8ルーメン/W



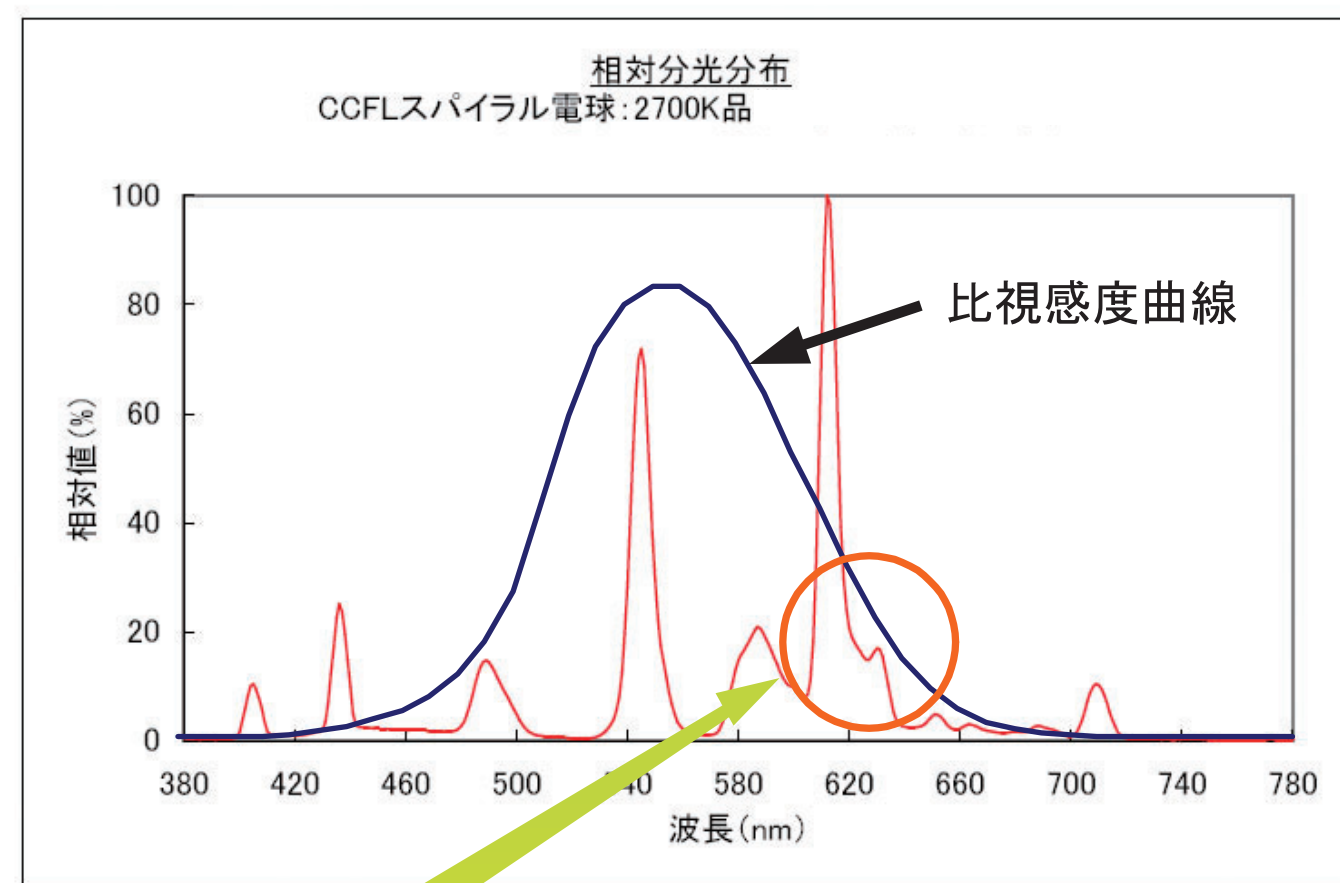
電球色CCFL電球

測定ランプ CCFLスパイラル電球 2700K品

測定条件 電源電圧 AC100V、60Hz
周囲温度 (°C) 25±1

測定結果	ランプ電力 (W)	18.6
	全光束 (lm)	1146
	発光効率 (lm/W)	61.6
	平均演色評価数: Ra	85.3
色度	x	0.4557
	y	0.4077
色温度 (K)		2736

61.6ルーメン/W

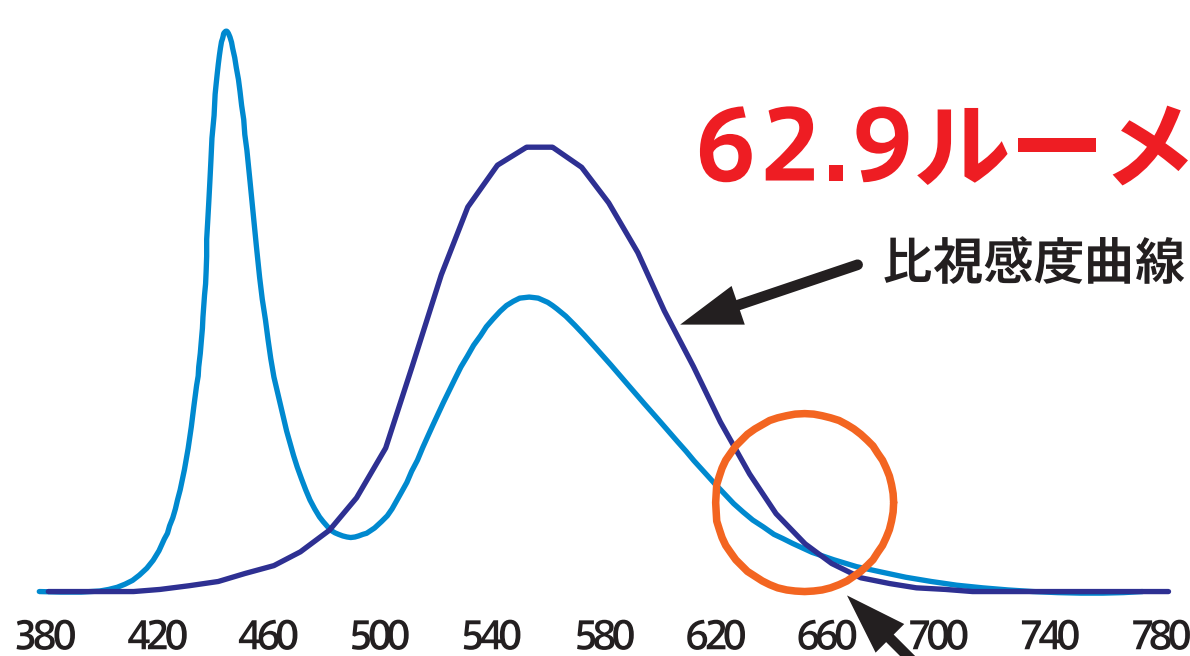


ほぼ同じランプ効率
(LEDでは演色性が犠牲になる)

CCFLは十分な
赤色光を出しており、
演色性が高い

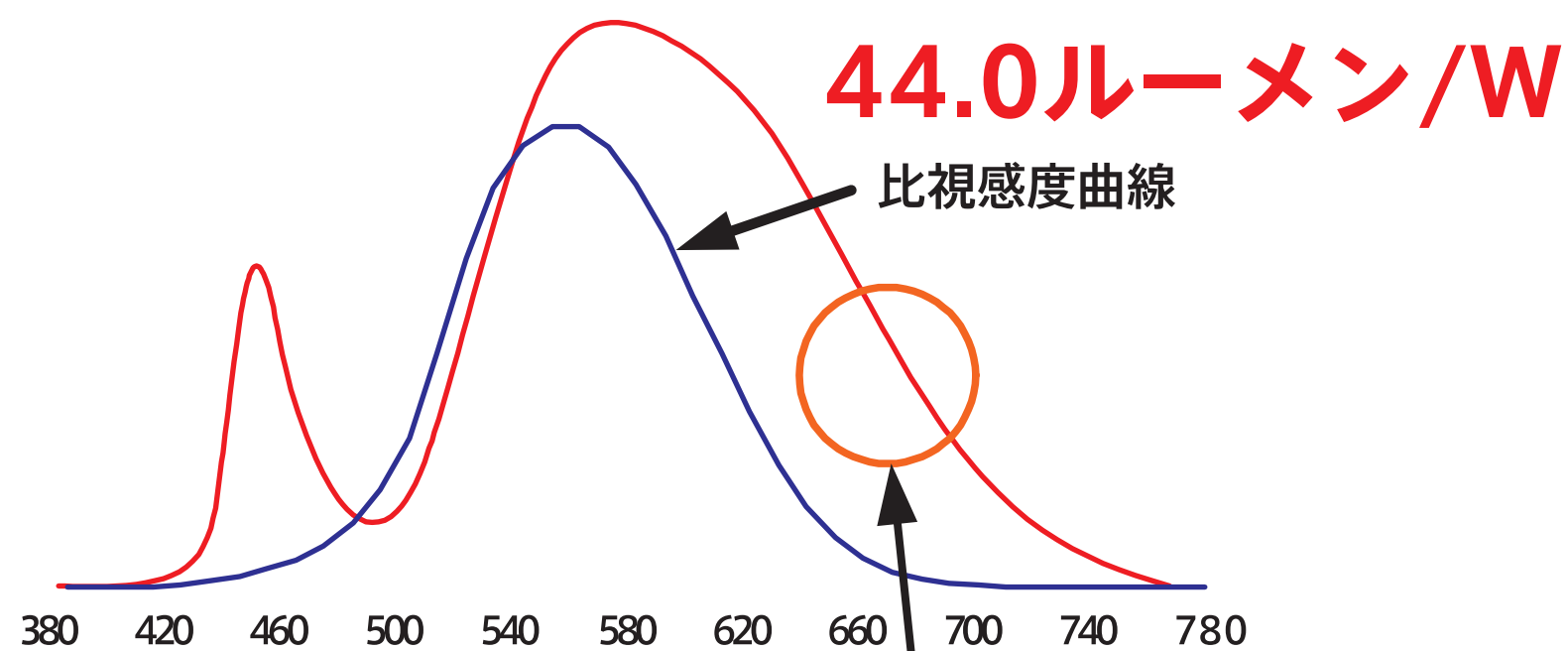
CCFLのほうが
40%も効率が良い

白色LED



良いか悪いかは別として
視感度の低い赤色光を
ほとんど出さない作戦で
明るくする

電球色LED



LEDとしては不得意な
赤色光をたくさん含む

結論

視感度の低い赤色光を出した電球色同士で比較した場合に、正味の変換効率の実力が出る。
実力で比較すると **LEDよりもCCFLのほうが効率が良い。**